

あすなるクラブ例会

太陽光発電は貯金

東興電気・東堂部長 釧路の気候最適

中小企業経営者らの異業種交流組織、経済研修団体釧路あすなるクラブ(宮崎博好会長)はこのほど、釧路キャッスルホテルで6月例会を開き、太陽光発電について学んだ。

同クラブは、今年の年間テーマを「挑戦釧路」として、豊かな街、物、人づくりを目指し、研修している。今回は、釧路が他地域に比べ日照時間が長いことや、行政が補助金を支出して釧路の活気につな

がるきっかけとなり得ることから、太陽光発電で釧路市内トップクラスの施工実績を誇る東興電気工業の東堂光春取締役営業部長を講師に招き、講話を聴いた。

東堂部長は、太陽光発電についての簡単な原理や実際の装置設備を説明。その上で、釧路の優位性について「太陽光発電効率が全国でもトップレベル。全国的に見ても年間日照時間が長い。さらに気温が低いほど発電効率が高いた

め、釧路の冷涼な気候が最適」と述べた。さらに、東堂部長は釧路市や弟子屈町、浜中町、別海町で行政による補助金制度があることや、昨年11月からの固定買取価格制度により売電効果向上している点を挙げ、「太陽光発電は、エコや環境のためだけではなく、優れた経済性から『屋根上の貯金』と考えられる」と締めくくった。講演後の質疑応答で会員は、実際の設置方法や補助制度の条件など踏み込んだ質問をするなど、関心の高さがうかがえた。

(道永竜命)



「太陽光発電は屋根上の貯金」と話す東堂部長